

## 価値創造プロセス

当社グループは、これまで培ってきた5つのコア技術をもとに、4つの事業領域で事業活動を展開します。さまざまな社会課題および社会変化を認識したう

えで特定したマテリアリティ(重要課題)への取り組みを推進することで、社会とともに持続的な成長を果たしたいと考えています。

### インプット

#### 人的資本

従業員数:1,890名\*  
(研究員数:471名)  
\*単体

#### 財務資本

格付け  
A+(長期格付)

#### 知的資本

特許保有数:5,031件  
研究開発費:172億円

#### 製造資本

設備投資:157億円

#### 社会関係資本

販売国数:56カ国

#### 自然資本

原材料:360,954トン  
エネルギー:99.3千kL\*<sup>1</sup>  
水資源:28.3百万m<sup>3</sup>\*<sup>2</sup>

\*1 原油換算  
\*2 水投入量-水放流量

コア技術  
[P45~46]

精密有機合成  
機能性高分子設計  
微粒子制御  
生物評価  
光制御

### マテリアリティ(重要課題) [P25~28]

人々の豊かな暮らしに  
役立つ新たな価値の提供



自社の事業基盤の強化



レスポンシブル・ケア  
活動の継続的強化

### 社会課題・社会変化

- 気候変動の進行
- 地球環境の危機
- 健康問題の深刻化
- リスクの多様化
- 労働環境における健康・安全への配慮要請の高まり
- スマート社会の到来

## 事業領域 アウトプット [P31~44]

### 情報通信

ディスプレイ材料  
半導体材料  
光配線材料  
センサー材料

### ライフサイエンス

農薬  
医薬品  
動物用医薬品  
生体材料

### 環境エネルギー

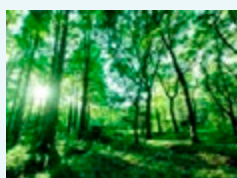
オイル&ガス材料  
二次電池材料

### 基盤

基礎化学品  
ファインケミカル

## アウトカム [P29~30]

### 社会課題の解決



### 企業価値の向上



## 目指す姿(2030年の企業像) [P5~10]

グローバルに変化する社会と向き合い、社内外の知を融合することで人々の豊かな暮らしに役立つ新たな価値を提供する企業グループ

培った信頼と磨き上げた技術により、情熱をもって未来を切り拓く、一流の挑戦者集団

- 企業間競争の激化
- ライフスタイルの変化
- サプライチェーンにおけるCSR配慮への要請の高まり
- 食糧問題の深刻化
- 労働力不足
- コーポレート・ガバナンス改革への関心の高まり
- 情報開示要請の高まり